「かながわ未来共創プラットフォーム」募集シート

■募集内容等

■夯未四合守					
募集テーマ	流木を有効活用したい				
提案募集の概要	県内の各ダムで引き揚げられた流木を有効活用する事業や取組みに関する提案を募				
(テーマに関連す	集する。				
る事業等の概要)					
背景・課題	企業庁が管理する各ダムでは、台風などの大雨により、ダム堤体付近に多量の流芥				
	が流れ着き、放置すると発電取水やダムゲート操作への支障、水質・景観の悪化など				
	に繋がる恐れがあるため、速やかに湖から引き揚げ、流芥置場に仮置きしている。				
	 多くは廃棄処分を行	多くは廃棄処分を行っているが、有効活用してもらいたい。			
課題によって、誰	・流木を処理できなければ、水道用水の取水に支障を及ぼし、県民への安定した水道				
が、どう困ってい	供給に影響を与える可能性がある。				
るか(または今後	・ダム堤体付近に流れ着いた流木を処理できなければ、ダム堤体に隣接する水力発電				
困ることが想定さ	所の取水口が閉塞し、発電に支障を来す恐れがある。				
れるか)	・仮置き場がいっぱいになり、新規に流木を陸揚げできない状況になると、悪臭によ				
	る環境被害や、生物発生による水質の悪化など、ダム湖周辺環境へ影響を与えること				
	となる。				
課題に対する県の	・費用をかけて流木をチップ化し、一般配布している。				
現状の取組	・流木をチェーンソーで切断し、一般配布として持ち帰りやすいよう工夫している。				
県が希望する提案	※以下は一例ですので、上記課題解決に向けて自由な発想でご提案ください。				
内容、例	・バイオマス発電燃料の原材料として流木を使用し、発電事業を行う				
	・キャンプで利用する薪として利用する				
	・流木アートや工芸品、アクアリウムとして利活用する				
	・チェーンソーの講習会や訓練で流木を使用し、切断した流木は一般配布する				
実施予定時期	提案内容により別途調整します。				
県から提供できる	・実証実験のフィールド選定にあたり、県が調整を行います。				
メリット	・実証実験で必要な流木は県から配布します。				
その他留意点	●ご提供するダムや時期によっては、提供できる量や形状が限られる場合があります。				
	●雨量や台風の回数等により、提供可能な流木の量は大きく変動するため、				
	毎年安定的に提供できるものではありません。(※)				
	●提供する流木には土やごみ等が付着している場合があります。				
	●流木の提供場所は、県内のダムとなります。				
	●流木配布に関する情報は、下記ページをご参照ください。				
	https://www.pref.kanagawa.jp/docs/vh6/cnt/ryubokuhaifu.html				
	(※)参考・過去3年の引揚量(ゴミ等含む) 単位:mi				
		R 2	R3	R4	
	城山ダム	800	600	700	
	相模ダム	800	400	400	
	三保ダム	100	500	300	

参考・流木の状態





<提案方法>

次のページでご案内する申込フォームへ、必要事項を記入の上、送信してください。

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=33311

<問合せ先>

神奈川県政策局いのち・未来戦略本部室 未来創生グループ 「かながわ未来共創プラットフォーム」担当 Tel: 045-285-0710 問合せフォーム

https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/140007-

u/offer/userLoginDispNon.action?tempSeq=13319&accessFrom=